

○議長（茅沼隆文）

次に、日程第3 議案第34号 平成25年度開成町下水道事業特別会計補正予算（第1号）を議題とします。予算書の説明を担当課長に求めます。

上下水道課長。

○上下水道課長（石塚和己）

それでは、1ページをお開きください。

議案第34号 平成25年度開成町下水道事業特別会計補正予算（第1号）。

平成25年度開成町の下水道事業特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

歳出予算の補正。

第1条 歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳出予算の金額は、「第1表 歳出予算補正」による。

平成25年5月8日提出、開成町長、府川裕一。

今回の補正理由でございますけれども、県道御殿場大井線の宮台地内に設置されている204処理分区の流量計のセンサー部が故障し、流量測定ができなくなっていましたので、更新工事を予備費を減額して、補正を行うものでございます。

次の2ページをお願いいたします。第1表、歳出予算補正の歳出ですが、1款総務費、1項下水道総務費、補正額299万3,000円の増、5款予備費、1項予備費の減で、補正額299万3,000円の減となり、歳出合計額は同額の6億7,143万円でございます。

6ページ、7ページをお願いいたします。1款総務費、1項下水道総務費、2目施設管理費、説明欄、施設維持管理工事等、施設維持管理費等299万3,000円の増、これは流量計更新工事を追加するものでございます。

5款予備費、1項予備費、1目予備費は、流量計更新工事費分を減額するものでございます。

ここで204処理分区の流量計の故障経過について、報告をいたします。

4月3日、午前10時ごろ担当者が3月分の流量データを回収しに行ったところ、流量が記録されていなかったために、メーカーのほうに状況報告の電話をいたしました。内容といたしましては、3月29日から汚水量の測定ができておりませんでした。故障した日にちは、3月29日に故障したのではなかろうかと考えております。

4月4日の日の午後に、メーカーのほうから現地を確認し、圧力センサーが故障しているということを確認いたしました。

この流量計でございますけれども、平成15年度に設置しておりまして、今年度で10年が経過しようとしております。流量計の耐用年数は10年となっているために、平成26年度に更新をする予定でございました。今回故障した部分のみの更新ではなく、流量計全てを1年前倒しして交換したいために、更新工事の補正を行うものでございます。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（茅沼隆文）

説明が終わりましたので、質疑に入ります。質疑をどうぞ。

高橋久志君。

○２番（高橋久志）

説明の件で、２番、高橋ですけれども、質問させていただきたいと思います。流量計について、２９０万ということで、設置している状況、以前に私もその流量計を視察した経過がございまして、２０４処理分区ですか、接続点を流量計で測定するという形で、表に流量計は出ておりますけれども、地面から下も構造物になっているということを感じております。非常に高い流量計だというふうに認識しておりますけれども、今回の故障によって、全面的にこの流量計、構造物を含めて修理をしなければいけないことになっているのかどうかですね。その辺、お願いしたいと思います。

同じような流量計については、ここだけじゃなくて、もう１箇所あるというふうに認識しております、２箇所だというふうに思っております。そこで、１０年の関係で、流量計の更新時期があるということで、それはわかりました。

もう一つのほうについても、確かこれよりも新しいというふうに認識しておりますけれども、その管理状態は良好だと、このように受けとめていいのかどうか、お願いします。

○議長（茅沼隆文）

上下水道課長。

○上下水道課長（石塚和己）

高橋議員のご質問にお答えします。この流量計の構造といたしましては、圧力水式ということで、管底にそのセンサーが設置されておまして、そのセンサーに圧力を感じることによって、ヒューム管の水深をはかり、勾配からどのぐらいの流量が流れているかということを計算するものでございます。

開成町には、この流量計というものが、２０４処理分区に１基、そして２０６処理分区、これは和田河原開成大井線、富士フイルムの先進コア研究所の南側に流域との接続点がありますので、そちらのほうに設置されております。耐用年数は１０年となっているんですけれども、この２０４、２０６処理分区につきましても、両方とも２６年度に更新をする考えでございました。基本的に、流量計というのは特殊なものでございまして、壊れて、受注してから生産するまでに約６０日最低かかってしまうということもございまして、早目に対応していきたいということで、２６年度に２０４、２０６ともに交換しようというふうに考えておりました。

２０４処理分区の場合には、平成元年に供用開始を行いまして、流量計を設置したわけなんですけれども、それが平成１５年。最初の流量計につきましては１５年間もちました。それから１５年設置したんですけれども、ここで壊れてしまったということで、基本的に毎月県に流量を報告しなければいけないというのがありまして、県と相談をいたしまして、すぐに流量計が設置できないということも県も承知しておりま

して、前年と同じ時期の流量を報告するというような形で、県との調整も行っております。

説明は以上でございます。

○議長（茅沼隆文）

菊川敬人君。

○1番（菊川敬人）

今の高橋議員の質問の中にもあったんですが、今回の補正の299万3,000円の部分は、流量計本体のみなんですか。それとも付帯する部分も何か更新しなきゃいけないというのが発生してくるんでしょうか。

○議長（茅沼隆文）

上下水道課長。

○上下水道課長（石塚和己）

この流量計、壊れましたセンサー部を交換するということも可能です。その費用も見積もりをいただきました。約70万かかります。

基本的には、センサーで感じたものを、地上に出ている流量計のボックスがあるんですけども、そこで時間ごとに流量をデータの的に印字するようになっております。現在の最新の流量計というのは、それを印字するのではなくて、USBに記録しているような状況になっているんですけども、この204処理分区に設置されているものにつきましては、印字をする方式、旧の方式になっています。ロール紙に時間ごとに流量が記録されるようになっておりまして、職員が一月に1回、そのロール紙を回収して数量を全部報告するという形になってはいますが、その部分だけを交換するというふうになってきまして、基本的にほかのものも大分経過しておりますので、また、そのところの故障が新たに発生する可能性が出てくるということで、そうすると、その部品自体を交換するよりも、技術者がここまで来る、要するに労務費というのですか、そちらのほうが非常に高くついてしまうということで、どうせ10年経過しようとしていますので、先に全部交換をしちゃったほうが、より安心ではないかということで、全部を交換する方法をとらせていただきました。

説明は以上です。

○議長（茅沼隆文）

よろしいですか。ほかに質疑ございませんか。

（「なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

では、お諮りします。質疑を打ち切り、討論を省略して、採決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」という者多数）

○議長（茅沼隆文）

ご異議なしと認め、採決いたします。

議案第34号 平成25年度開成町下水道事業特別会計補正予算（第1号）について

て、原案に賛成の方の起立を求めます。

(起立全員)

○議長（茅沼隆文）

起立全員によって、可決いたしました。

それでは、ここで暫時休憩いたします。そのまましばらくお待ちください。

なお、副議長は議長室へお越しください。

午前１０時１０分